

【タイトル】

在ナイジェリア大使館からの注意喚起（在留邦人被害）

【ポイント】

30日、ラゴス州レキ地区において、在留邦人が被害者となる※スマッシュ&グラブ事案が発生しました。皆様におかれましては、今後、改めて防犯意識を高めるとともに、車での移動の際は、以下4の事項に留意して被害の未然防止に努めてください。

※スマッシュ&グラブの手口とは、一般に共犯者のうち1名が歩道からターゲットとなる通行車両を物色の上、別の共犯者にターゲット車両を指し示す合図を送り、ターゲット車両の窓ガラスを破壊（スマッシュ）して、車中の貴重品を窃取（グラブ）するもの。

【本文】

ナイジェリアにお住まいの皆様及び旅行者の皆様へ

2016年11月30日

在ナイジェリア大使館

30日、ラゴス州レキ地区において、在留邦人が被害者となるスマッシュ&グラブ事案が発生しました。皆様におかれましては、今後、改めて防犯意識を高めるとともに、車での移動の際は、以下4の事項に留意して被害の未然防止に努めてください。

1 発生日時

2016年11月30日（水）午前9時50分頃

2 発生場所

ラゴス州レキ地区

3 発生状況

被害者は上記日時場所において、出勤のため運転手付レンタカーの後部座席に乗車し、移動中に車内でノート型パソコンを使い作業をしていた。被害当時、被害者の車両は信号待ちのため交差点で停車し、被害者はその間もパソコン作業を続けていたところ、突然、乗車していた後部右側の窓ガラスが割れ、とっさに目を向けるや否や、外に立っていた黒人男性2人が割れた窓越しから被害者のパソコンを強奪して逃走を試みた。

すぐに、レンタカーの運転手が車外に出て被疑者2人を追跡し、周囲の通行人とともにパソコンを取り返すも、2人の確保には至らず、そのまま二輪車で現場から逃走した。

被害者は、近くの路上にいた警察官を発見して助けを求め、現場において警察官によ

る実況見分と簡単な聞き取りの後、最寄りの警察署において詳しい事情聴取を受けた。

なお、被疑者2名は棒状の道具で被害者車両の窓ガラスを殴打して叩き割り、その際、被害者は割れた窓ガラス片で顔と手に若干の擦過傷を負ったが、その他直接的な暴力による負傷被害はなかった。

4 留意事項

(1) 自家用車等に乗車する際、特に信号待ちのため停止する際には、運転手がいる場合は運転手任せにすることなく、常に周囲に注意を払い、直近の不審者や不審車両（同車両中の運転手や乗車中の者が不自然に待機していないか）を確認するよう意識付ける。かかる状況を認めた場合には、現場から直ちに離脱するよう努め、状況に応じて助けを求める。また、普段から助手席、後部座席等、外側から目につく位置に貴重品類を置かないよう徹底する。

(2) 出発前にルートをよく確認し、移動は地元で犯罪多発エリアと言われるルートを避けて、また地図を携行するなどして被害回避のためのシミュレーションに努める。

(3) 以下、可能な限り行う。

ア 車の窓には、飛散防止フィルム（＝セキュリティフィルム）を貼付する。

イ 停車する場合には、前車との間隔を十分に取り、いつでも離脱できるようにする。

ウ 信号前や交差点では速度調整等を行い、停止時間を短くする。

在ナイジェリア日本大使館

警備・領事班

TEL: (234-9) 461-2713~2714、3289~3290 (代)

メールアドレス: visanigeria@la.mofa.go.jp